は　じ　め　に

今日の環境問題は、従来大きなウエイトを占めていた産業型公害から、近隣騒音や生活排水による水質汚濁、廃棄物問題など都市生活型公害に移行する一方で、地球的規模の環境問題や新たな化学物質による環境汚染が顕在化するなど、人類の存続基盤や生態系の維持に深刻な影響を及ぼしかねない状況にあります。

特に、本市の水環境と密接に関わっている八代海の海域環境が急変している問題については、国や県の関係機関が連携し、有識者を交えながら調査研究が進められていますが、海域環境を再生するための具体的な方策は未だ打ち出されていないのが現状でございます。
かつて「豊饒の海」と謡われ、市民生活に豊かな海の幸と潤いをもたらし、レジャーや観光などに集う場として、物心両面に潤いを与えてくれた八代海を取り戻すことが今後の重要な課題であると認識しています。

そうした環境問題の変遷に併せ、刻々と変化する地域環境の現状を正確に伝えるとともに、環境保全の重要性を広く市民の皆様に認知いただきたいとの想いから、昭和４５年発行の初版以来、３５年の長きにわたって八代市の環境の状況を公表して参りましたが、８月１日の市町村合併により、本書をもって現「八代市」として発行する最後の環境報告書となります。

これまで、本市の環境行政の推進に多大なるご指導とご協力をいただきました各方面の関係者の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、新市発足後も更なるご助力を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

新市合併を迎えるに当たり、本市の環境施策の理念である「全ての市民が良好な環境の恵沢を享受する地域社会の創造」を受継ぎ、今後とも市民・事業者・行政のパートナーシップの輪を更に広げながら、「環境都市八代」の実現に向けて確かな歩みを進めて参る所存でございます。

本書を多くの皆様にご高覧いただくことによって、本市の環境への理解と認識を深め、継続的かつ積極的な環境保全活動を進めていくための一助となれば幸甚に存じます。

平成１７年7月

八代市長　中 島 隆 利